

あと一步の向上に向けた取組

函館市立恵山中学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

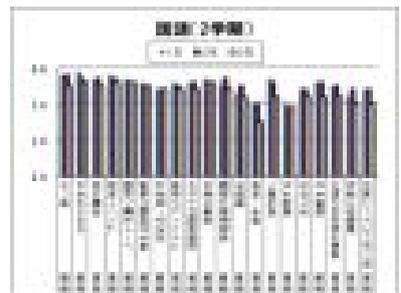
1 学力向上の具体的な方策

- ・授業評価アンケート（生徒・教師・保護者）から問題点、改善点を洗い出し、の授業に生かす。
- ・全教師による授業公開と基礎基本の定着を図る授業の工夫と改善の為に「目標の明確化」・「山場の工夫」・「定着を図る場の設定」をポイントに取り上げた。
- ・定期テスト前、長期休業中の補充学習に取り組んだ。

2 取組の概要

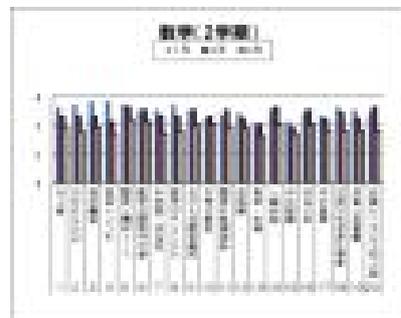
< 授業評価アンケート >

- ・授業評価アンケートから 教師の授業、自分の学習の取り組み、グループ学習 に焦点をあて、生徒にとって魅力ある授業が行われ、学力向上につながっているか分析を行った。
- ・1学期末の結果を分析し、その結果から各教科で「授業改善実践シート」を使い授業改善の明確化を図った。さらに2学期末にも授業評価アンケートを行い、授業改善シートを意識した取り組みにより生徒がどう変容したかを分析、新たに取り組む点を明らかにした。



< 全教師による授業公開と基礎基本を図る授業の工夫と改善 >

- ・基礎基本の定着と学習意欲を向上させるための授業のポイントとして、生徒自身がこの1時間で何を学ぶのかがはっきりわかり、意欲を持って取り組めるように目標を明確化させることを意識した。また、山場の工夫として学習形態を工夫し「個から小集団」、「小集団から学級」というように、個や集団を生かす授業を意識した。
- ・研究授業で各学年より授業を提供し、それ以外は自分で時期を決めて授業公開を行い教師間の授業交流を行った。



3 成果（ ）と課題（ ）

授業評価により生徒の学習に対する意識と教師自身が自分の授業を振り返る良い機会となった。

学習形態の工夫により、生徒の教科への関心と意欲が高まった。

テスト前や長期休業中の補習等に積極的に取り組めたが、ノート指導、家庭学習指導に力を入れるまで至らず、学習習慣の定着が不十分だった。

学校事情で授業を公開できず、指導案の提出に変えた教科もあった。